Press Letter

じゃらんリサーチセンター

RECRUIT 株式会社リクルート

2026年7月15日

【旅行市場動向編】
じゃらん観光国内宿泊旅行調査 2026

国内宿泊旅行者数は微減も、旅行費用総額は8兆3883億円に拡大
平均宿泊数の微増・現地消費の上昇が市場を下支え

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：高橋 佑司）は、全国1万5,548人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2026」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の実態を調べるものです。2025年度（2025年4月～2026年3月）の主な結果は以下の通りです。

国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数推計（→P3）

■ 2025年度に国内宿泊旅行を実施した人は48.9%。前年度（49.3%）から0.4ポイント減少し、伸び悩みが続いた。一方、年間平均旅行回数は2.78回、1回の旅行当たりの平均宿泊数は1.75泊といずれも微増。延べ宿泊旅行者数は1億2763万人回と微減したが、延べ宿泊数は2億2372万人泊と微増した。性・年代別では18～29歳女性の実施率が最も高いものの、延べ宿泊旅行者数では男女ともに18～29歳の減少が目立つ。

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住ブロック別の傾向（→P4）

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都。前年度からの増加幅が大きかったのは大阪府、静岡県、福岡県など。増加率では徳島県、大阪府、佐賀県がトップ3となった。宿泊先ブロックでは関西、東海、九州などで増加した一方、甲信越・北陸、関東では減少。特に関西は、大阪・関西万博開催の影響もあり、大阪府を中心に広域からの需要を取り込んだことがうかがえる。

1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）、国内宿泊旅行の費用総額（→P5-6）

■ 1回の国内宿泊旅行にかかった費用は、平均で大人一人当たり6万5,700円で前年度から上昇。現地消費は上昇し、宿泊費・交通費はほぼ横ばいであった。国内宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で8兆3883億円となり、前年度比＋2.5%。宿泊旅行実施率は微減したものの、旅行単価の上昇により市場規模は拡大した。費目別では現地消費が3兆6767億円と最も大きく、全体の43.8%を占める。

国内宿泊旅行の目的（→P8）

■ 「地元の美味しいものを食べる」が43.7%で最も高く、次いで「温泉や露天風呂に入る」 「宿を楽しむ」が続く。同行者別に見ると、小学生以下連れ親子旅行では「テーマパークに行く」、ひとり旅では「スポーツ観戦や芸能鑑賞をする」などが全体と比べて高く、同行者によって旅行目的の違いがあることが分かる。

本件に関する
お問い合わせ先

https://www.recruit.co.jp/support/form/

《担当研究員コメント》JRC研究員　池内 摩耶（いけうち まや）

旅行単価の上昇を、持続的な市場拡大につなげられるか

2025年度の国内宿泊旅行実施率は48.9％と、前年度からの伸びは見られませんでした。実宿泊旅行者数、延べ宿泊旅行者数が微減となった一方、国内宿泊旅行費用総額は8兆3883億円と前年度を上回りました。旅行者数が伸び悩む中で、1回当たりの旅行費用、特に現地消費の上昇が市場を支えています。人口減少も見据えると、国内宿泊旅行市場は、旅行者数の拡大だけを前提に成長を描くことが難しい局面にあります。また、旅行単価の上昇には、人件費や物価の上昇など、観光事業者や地域を取り巻くコスト構造の変化も影響していると考えられます。今後は、単価上昇を旅行者の負担増で終わらせず、満足度や支出への納得感を下げないことが重要です。そのためには、同行者・旅行目的に応じた過ごし方の提案や、地域ならではの食・体験・土産などの魅力を磨き、旅行者が「行ってよかった」と感じられる滞在価値をつくることが求められます。加えて、適正な価格転嫁によって事業者の収益向上や従業員の処遇改善を図り、地域への還元につなげるといった、地域住民にとっても観光の意義を実感できる環境づくりも欠かせません。旅行者、事業者、地域住民のそれぞれにとって納得感のある観光施策を積み重ねることが、持続的な市場拡大につながると考えています。

調査結果の公表に合わせ、担当研究員が調査の結果や注目ポイントを解説するオンライン報告会を開催します。

JRC調査報告会：「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2026」
開催日時：2026年7月16日（木）15:00～16:00
開催方式：YouTubeライブ配信
※後日、アーカイブでもご視聴いただけます。
参加方法：事前申込不要
視聴URL：https://jrc.jalan.net/seminar/7939/

調査概要

●調査対象旅行期間　2025年度（2025年4月～2026年3月）に行われた国内宿泊旅行
●調査方法　インターネット調査

■1次調査

①調査目的	全国の国内宿泊旅行実施者を抽出することに加え、 性年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施
②調査時期	2026年4月1日（水）～ 2026年4月21日（火）
③調査対象	全国18～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
④配信数	108万1,685件 ※2次調査において都道府県別、性年代別の割り付けに合った回収が得られるように配信
⑤調査内容	2025年度（2025年4月～2026年3月）1年間の国内宿泊旅行 （出張・帰省・修学旅行などを除く）の有無について
⑥回収数	6万9,854件（回収率6.5％）
⑦集計対象者	2万件 ※回収された6万9,854件のうち都道府県別、性年代別に割り付けを行い2万件を抽出し、 性年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

①調査目的	全国の国内宿泊旅行実施者に対して、国内宿泊旅行の内容を知るために実施
②調査時期	2026年4月10日（金）～ 2026年4月21日（火）
③調査対象	2万7,966件 1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万3,643件
④配信数	2万7,966件 ※配信数は対象者の中から都道府県別、性年代別の割り付けに合わせてランダムに抽出
⑤調査内容	昨年度1年間に実施した全ての国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の 行き先と回数について、また一人最大3件までの個別国内宿泊旅行について、 具体的な内容を調査
⑥回収数	1万5,589件（回収率55.7％）
⑦有効回答数	1万5,548件（旅行件数ベース3万139件）

国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数推計

■ 2025年度の1年間に国内宿泊旅行（※1）を実施した18～79歳の割合は48.9％。前年度（49.3％）から0.4ポイント減少し、伸び悩みが続いた。実施者における年間平均旅行回数は2.78回、1回の旅行当たりの平均宿泊数は1.75泊で、いずれも前年度から微増した。実宿泊旅行者数の推計値は4589万人、延べ宿泊旅行者数（※2）は1億2763万人回、延べ宿泊数（※3）は2億2372万人泊となった。前年度と比べると、実宿泊旅行者数、延べ宿泊旅行者数は微減した一方、延べ宿泊数は微増となった。

■ 性・年代別に見ると、宿泊旅行実施率が最も高いのは18～29歳女性で61.8％と唯一6割を超えた。ほか、18～29歳男性、30代女性、60代男性が5割台となっている。前年度との差では、60代男性や50代女性で増加が見られる一方、30～40代や70代では男女とも減少した。延べ宿泊旅行者数では、男女ともに18～29歳の減少幅が大きく、若年層の旅行実施率は高いものの、旅行量としては前年度を下回った。

■ 延べ宿泊旅行者数　推計値

	R6年10月1日現在人口推計	調査結果			推計値		
	人口	宿泊旅行実施率	宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数	宿泊旅行実施者の1回の旅行当たり平均宿泊数	実宿泊旅行者数	延べ宿泊旅行者数	延べ宿泊数
	（万人）<A>	（%）<B>	（回）<C>	（泊）<D>	（万人）A*B	（万人回）A*B*C	（万人泊）A*B*C*D
〔25年度〕全国18～79歳男女	9382	48.9	2.78	1.75	4589	12763	22372
前年度との差→		▲ 0.4	0.02	0.01	▲ 34	▲ 12	64
前年度比増減→					▲ 0.7%	▲ 0.1%	0.3%
〔24年度〕全国18～79歳男女	9382	49.3	2.76	1.74	4623	12775	22308
〔23年度〕全国18～79歳男女	9427	49.5	2.80	1.74	4670	13060	22739

※1　国内宿泊旅行：国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅での宿泊、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
※2　延べ宿泊旅行者数（万人回）：人口推計 × 宿泊旅行実施率 × 宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
※3　延べ宿泊数（万人泊）：延べ宿泊旅行者数 × 宿泊旅行実施者の1回の旅行当たり平均宿泊数
※　人口について次の統計値を用いて推計を行っている。ウエイトバック集計と同様に、都道府県、年齢、男女別人口より算出。
2025年度、2024年度：R6年10月1日現在人口推計　　2023年度：R5年10月1日現在人口推計　（総務省統計局）

■ 性・年代別　国内宿泊旅行実施率の推移

	宿泊旅行実施率（%）			24年度→25年度の差（ポイント）	23年度→24年度の差（ポイント）
	25年度	24年度	23年度		
18～29歳 / 男性	53.0	52.2	55.7	0.8	▲ 3.5
18～29歳 / 女性	61.8	62.7	63.6	▲ 0.9	▲ 0.9
30代 / 男性	49.1	49.9	53.3	▲ 0.8	▲ 3.4
30代 / 女性	53.4	54.5	57.1	▲ 1.1	▲ 2.6
40代 / 男性	45.7	46.2	48.4	▲ 0.5	▲ 2.2
40代 / 女性	47.1	48.3	49.5	▲ 1.2	▲ 1.2
50代 / 男性	44.4	45.5	42.5	▲ 1.1	3.0
50代 / 女性	45.3	42.9	43.8	2.4	▲ 0.9
60代 / 男性	51.2	47.4	50.2	3.8	▲ 2.8
60代 / 女性	48.7	48.7	48.1	0.0	0.6
70代 / 男性	48.0	50.4	45.4	▲ 2.4	5.0
70代 / 女性	43.4	46.6	42.3	▲ 3.2	4.3

■ 性・年代別　延べ宿泊旅行者数の推移

	延べ宿泊旅行者数（万人回）			24年度→25年度の差（万人回）	23年度→24年度の差（万人回）
	25年度	24年度	23年度		
18～29歳 / 男性	1233	1384	1364	▲ 151	19
18～29歳 / 女性	1282	1360	1382	▲ 79	▲ 21
30代 / 男性	909	838	976	71	▲ 138
30代 / 女性	915	864	962	51	▲ 98
40代 / 男性	972	1029	1077	▲ 58	▲ 48
40代 / 女性	886	925	1025	▲ 38	▲ 101
50代 / 男性	1172	1183	1061	▲ 11	122
50代 / 女性	1046	1065	1042	▲ 19	22
60代 / 男性	1226	1078	1182	148	▲ 104
60代 / 女性	1073	1036	1034	37	2
70代 / 男性	1071	1009	981	62	28
70代 / 女性	979	1003	972	▲ 24	31

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住ブロック別の傾向

■ 都道府県別に見ると、延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都で1102万人。次いで北海道（975万人）、大阪府（940万人）となった。前年度と比較すると、増加幅が最も大きかったのは大阪府（＋174万人）、次いで静岡県（＋89万人）、福岡県（＋32万人）。増加率では徳島県（＋23.3％）、大阪府（＋22.8％）、佐賀県（＋22.0％）の順に高い。

■ 宿泊先ブロックの延べ宿泊旅行者数は、関西ブロック、東海ブロック、九州ブロックなどで前年度から増加した一方、甲信越・北陸ブロック、関東ブロックでは減少した。関西ブロックを居住ブロック別に見ると、関東ブロックからの旅行者が66万人回増、九州ブロックや甲信越・北陸ブロックなどからも増加しており、大阪府を中心に広域からの旅行需要を取り込んだことがうかがえる。一方、甲信越・北陸ブロックでは関東ブロックからの旅行者が72万人回減となり、減少幅の大きさが目立った。

■ 都道府県別　延べ宿泊旅行者数（推計値）※上位10都道府県

2025年度推計結果				2024年度	2023年度
順位	都道府県	推計値	（増減数）	推計値	推計値
全　国		12763万人	(-12万人)	12775万人	13060万人
1位	東京都	1102万人	(-52万人)	1154万人	1147万人
2位	北海道	975万人	(25万人)	951万人	922万人
3位	大阪府	940万人	(174万人)	766万人	800万人
4位	静岡県	713万人	(89万人)	624万人	647万人
5位	神奈川県	635万人	(-34万人)	670万人	671万人
6位	千葉県	558万人	(5万人)	553万人	601万人
7位	長野県	522万人	(-25万人)	547万人	506万人
8位	京都府	498万人	(-20万人)	518万人	546万人
9位	福岡県	493万人	(32万人)	462万人	494万人
10位	沖縄県	480万人	(5万人)	475万人	476万人

■ 都道府県別　延べ宿泊旅行者数増加数／増加率（推計値）※上位10都道府県

24年度→25年度 増加数		24年度→25年度 増加率	
1位	大阪府 174万人	1位	徳島県 23.3%
2位	静岡県 89万人	2位	大阪府 22.8%
3位	福岡県 32万人	3位	佐賀県 22.0%
4位	北海道 25万人	4位	鳥取県 20.2%
4位	福島県 25万人	5位	香川県 17.6%
6位	香川県 24万人	6位	埼玉県 16.1%
7位	埼玉県 23万人	7位	静岡県 14.2%
8位	鳥取県 21万人	8位	愛媛県 11.5%
9位	佐賀県 19万人	9位	福島県 9.5%
10位	徳島県 18万人	10位	福岡県 6.8%

■ 居住ブロック別　宿泊先ブロックの延べ宿泊旅行者数（推計値）

		宿泊先ブロック								
単位（万人回）		北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック
全体	25年度	975	1262	3293	1476	1561	2341	1314	1553	480
	24年度	951	1216	3330	1581	1501	2259	1300	1501	475
	23年度	922	1218	3397	1566	1544	2324	1320	1560	476
	25年度-24年度	25	46	-37	-105	60	82	14	52	5
（24年度との差）居住ブロック	北海道ブロック	-18	-2	-11	10	0	-9	-4	-7	0
	東北ブロック	-14	16	-30	-5	-3	4	-5	0	-3
	関東ブロック	12	9	34	-72	71	66	27	37	21
	甲信越・北陸ブロック	1	7	17	-26	-9	18	0	9	1
	東海ブロック	20	4	-23	-2	-18	5	-12	6	-2
	関西ブロック	2	0	-43	-5	4	-20	-30	2	0
	中四国ブロック	25	6	6	6	9	8	46	-2	-7
	九州ブロック	0	2	15	-16	1	20	-10	14	-3
	沖縄ブロック	-4	6	-1	5	5	-9	2	-8	-2

※全体増減/-100万人回以上：網かけ白文字

※　1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしているため、各ブロックや各都道府県の延べ宿泊旅行者数を足し上げると全国の延べ宿泊旅行者数を超える

※　一人当たり1年間に行った全ての宿泊旅行回数を尋ねた結果から推計している

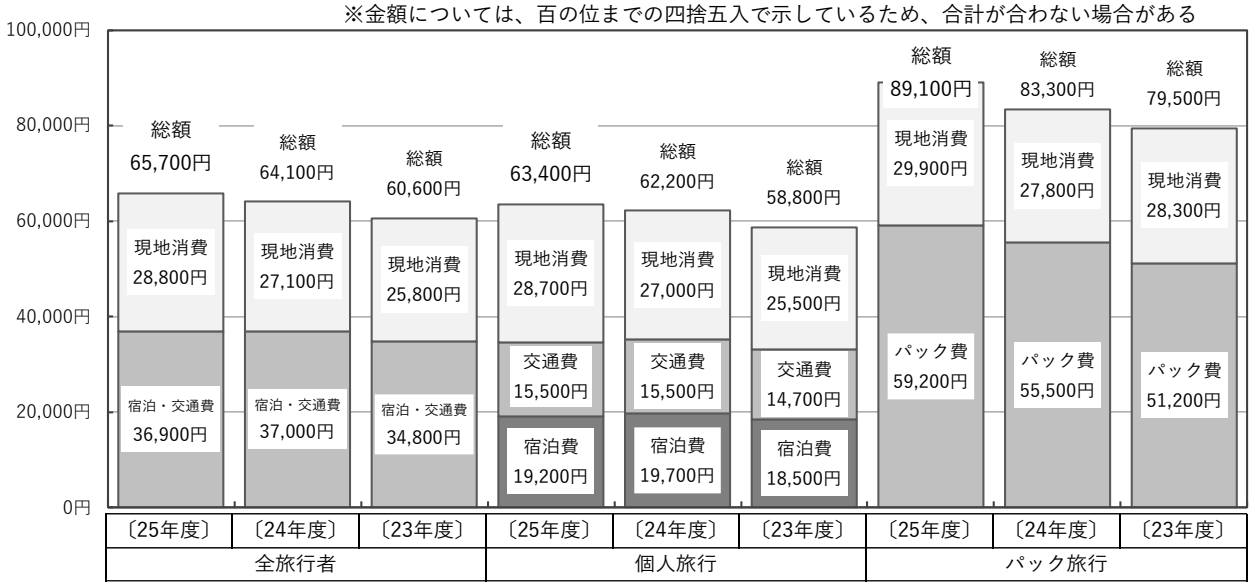
1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）、国内宿泊旅行の費用総額

■ 1回の国内宿泊旅行にかかった費用総額は全旅行者の平均で大人一人当たり6万5,700円。宿泊・交通費が3万6,900円、現地消費が2万8,800円であった。前年度と比較すると、全旅行者では総額で＋1,600円、現地消費で＋1,700円となった一方、宿泊・交通費はほぼ横ばいであった。個人旅行は、総額6万3,400円で、宿泊費1万9,200円、交通費1万5,500円、現地消費2万8,700円となり、前年度からは現地消費が上昇。パック旅行は総額8万9,100円で、前年度から＋5,800円と大きく上昇した。

■ 国内宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で8兆3883億円、前年度比＋2.5％となった。費目別では現地消費が3兆6767億円と最も大きく、全体の43.8％を占めた。宿泊旅行実施率は微減したものの、旅行単価の上昇により市場規模は拡大しており、特に現地での消費が市場を支えている。

■ 1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

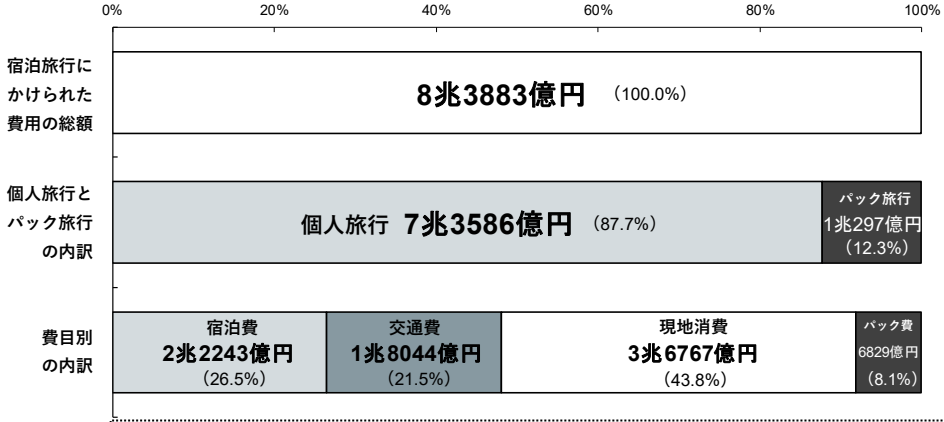
※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



個人旅行	〔25年度〕	〔24年度〕	〔23年度〕
1泊当たりの宿泊費	13,300円	13,600円	12,800円

※　1回の国内宿泊旅行にかかった費用
（大人一人当たり）
1回の国内宿泊旅行にかかった費用について、
個人旅行の場合、一人当たりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。
パック旅行の場合、一人当たりのパック費・現地消費の合計。
18歳未満の子どもを連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている
※　個人旅行　個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む
※　現地消費　旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く

■ 国内宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



宿泊旅行にかけられた費用の総額（億円）		前年度比増減
25年度	8兆3883	2.5%
24年度	8兆1867	3.4%
23年度	7兆9172	－

＜全国の宿泊旅行費用総額の推計方法＞
①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

宿泊先都道府県別　1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

■ 宿泊先都道府県別に全旅行者の総額を見ると、最も高いのは沖縄県で12万8,800円。一方、最も低いのは山梨県で4万3,000円だった。個人旅行1泊当たりの宿泊費に注目すると、最も高いのは千葉県で1万6,900円、最も低いのは宮崎県で8,200円だった。東京都や大阪府など都市圏では全体を下回る一方、千葉県、静岡県、大分県などで全体を大きく上回った。

■ また、個人旅行1泊当たりの宿泊費を前年度と比較すると、全体では300円低下した。宿泊費が上昇している地域もある一方、徳島県、宮崎県、長崎県、千葉県、山梨県など多くの地域で低下しており、地域によって動きに差が見られる。

■ 宿泊先都道府県別　1回の国内宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある

	全旅行者			個人旅行				パック旅行			個人旅行1泊当たり宿泊費			24→25年	23→24年
	総額	宿＋交通費	現地消費	総額	宿泊費	交通費	現地消費	総額	パック費	現地消費	25年度	24年度	23年度	度の差額	度の差額
25年度 全体	**65,700**	**36,900**	**28,800**	**63,400**	**19,200**	**15,500**	**28,700**	**89,100**	**59,200**	**29,900**	**13,300**	**13,600**	**12,800**	**▲ 300**	**800**
北海道	**96,300**	**52,300**	**44,000**	**93,400**	23,800	**24,600**	**45,100**	**112,000**	**74,100**	**37,900**	12,600	12,600	11,900	0	700
青森県	**73,200**	**44,100**	29,100	67,800	18,600	19,300	30,000	**114,200**	**92,000**	22,300	11,400	11,400	10,800	0	600
岩手県	57,100	33,900	23,200	53,900	16,700	13,600	23,700	90,800	**73,000**	17,800	12,100	12,400	13,600	▲ 300	▲ 1,200
宮城県	54,900	31,100	23,800	53,600	16,800	13,200	23,700	72,800	46,500	26,300	12,500	12,700	12,200	▲ 200	500
秋田県	**71,800**	41,700	30,100	**70,200**	20,500	18,700	31,000	92,600	**74,500**	18,100	11,500	11,600	12,500	▲ 100	▲ 900
山形県	57,000	38,800	18,200	49,300	19,300	11,300	18,700	**112,600**	**98,500**	14,100	14,200	12,300	14,200	1,900	▲ 1,900
福島県	45,900	27,600	18,300	44,600	17,000	9,300	18,300	70,300	53,200	17,200	13,100	12,800	12,800	300	0
栃木県	44,200	26,900	17,300	42,400	18,600	7,500	16,300	76,400	40,200	**36,200**	15,400	15,500	14,700	▲ 100	800
群馬県	45,100	28,100	17,000	43,700	18,900	7,800	17,000	71,100	53,300	17,800	15,600	15,200	14,400	400	800
茨城県	45,700	23,500	22,200	44,800	13,400	9,700	21,700	83,000	40,900	**42,100**	11,400	11,600	10,200	▲ 200	1,400
埼玉県	51,000	28,300	22,700	51,200	14,900	13,600	22,700	34,500	13,900	20,600	11,500	9,400	8,900	2,100	500
千葉県	68,700	35,300	33,400	67,400	22,900	11,600	32,900	89,400	47,300	**42,100**	16,900	18,500	15,800	▲ 1,600	2,700
東京都	**75,000**	38,000	**37,000**	**74,300**	16,200	**20,900**	**37,200**	83,000	47,900	**35,100**	11,100	12,000	10,800	▲ 900	1,200
神奈川県	54,400	31,200	23,200	53,700	19,900	11,200	22,600	68,100	31,300	**36,700**	15,700	14,900	14,700	800	200
山梨県	43,000	24,700	18,300	42,800	15,900	8,400	18,500	46,000	31,100	14,900	12,300	13,900	12,800	▲ 1,600	1,100
長野県	55,900	33,400	22,500	55,100	20,500	11,500	23,000	69,100	55,200	13,900	14,100	13,000	13,100	1,100	▲ 100
新潟県	53,000	30,100	22,900	52,100	17,500	10,700	23,900	65,000	56,600	8,400	12,800	12,900	12,900	▲ 100	0
富山県	59,000	35,300	23,700	56,800	17,200	15,300	24,300	77,100	57,900	19,200	12,200	12,400	10,800	▲ 200	1,600
石川県	65,100	36,400	28,700	63,700	18,200	16,300	29,200	76,600	51,800	24,800	13,500	13,700	13,600	▲ 200	100
福井県	55,900	34,300	21,600	53,800	18,300	12,600	22,900	75,000	**66,000**	9,000	15,100	15,900	15,200	▲ 800	700
静岡県	49,300	29,600	19,700	48,400	20,200	8,400	19,700	69,900	51,800	18,000	16,300	16,300	14,900	0	1,400
岐阜県	50,800	30,000	20,800	49,800	20,400	8,800	20,500	73,300	45,900	27,400	15,700	15,700	13,400	0	2,300
愛知県	56,500	29,500	27,000	56,400	14,200	14,900	27,400	57,200	34,300	22,800	10,300	11,100	9,900	▲ 800	1,200
三重県	57,000	32,700	24,300	55,100	20,500	10,100	24,500	79,800	57,900	21,900	16,200	16,600	15,100	▲ 400	1,500
滋賀県	48,800	30,200	18,600	45,400	16,500	10,100	18,800	78,300	61,700	16,700	13,800	13,100	11,900	700	1,200
京都府	66,800	35,800	31,000	66,000	19,000	15,800	31,100	74,300	44,500	29,800	13,500	14,900	13,400	▲ 1,400	1,500
大阪府	**74,300**	36,900	**37,400**	**73,700**	16,500	19,700	**37,500**	78,800	42,400	**36,400**	10,700	10,500	10,500	200	0
兵庫県	53,800	31,900	21,900	52,700	18,900	11,700	22,100	72,000	54,700	17,300	15,700	16,000	15,600	▲ 300	400
奈良県	55,800	33,100	22,700	53,100	15,800	14,800	22,500	91,100	**65,800**	25,300	11,500	12,500	11,700	▲ 1,000	800
和歌山県	53,700	30,600	23,100	52,000	19,600	9,600	22,800	72,400	45,800	26,600	15,300	14,400	14,300	900	100
鳥取県	54,700	34,000	20,700	49,200	16,900	12,100	20,100	86,400	62,500	24,000	13,500	13,400	12,200	100	1,200
島根県	67,500	**43,400**	24,100	63,200	20,500	19,200	23,500	**94,800**	**66,700**	28,100	14,700	13,300	13,500	1,400	▲ 200
岡山県	51,400	30,100	21,300	51,500	14,700	15,600	21,100	50,200	25,500	24,700	11,100	11,500	10,300	▲ 400	1,200
広島県	66,300	36,800	29,500	64,800	15,700	18,800	30,200	79,900	56,700	23,300	10,900	11,800	11,000	▲ 900	800
山口県	64,300	37,800	26,500	63,500	23,100	13,700	26,700	76,500	53,500	23,000	15,500	14,600	13,800	900	800
徳島県	55,300	31,800	23,500	55,400	15,400	15,400	24,600	54,500	43,600	11,000	10,600	16,300	12,900	▲ 5,700	3,400
香川県	58,500	35,500	23,000	56,600	17,600	15,800	23,200	83,500	63,500	20,100	11,900	11,200	10,700	700	500
愛媛県	55,700	34,000	21,700	52,300	15,500	15,100	21,700	92,100	**71,000**	21,200	11,100	12,000	13,700	▲ 900	▲ 1,700
高知県	61,400	33,000	28,400	59,600	15,500	14,800	29,300	82,300	63,600	18,700	10,400	10,700	11,600	▲ 300	▲ 900
福岡県	69,500	37,000	32,500	**70,100**	16,400	**20,600**	33,100	63,100	36,900	26,100	10,800	9,700	9,700	1,100	0
佐賀県	50,800	30,600	20,200	49,800	18,500	11,200	20,100	76,000	54,900	21,200	15,800	14,900	14,600	900	300
長崎県	**73,000**	**45,000**	28,000	63,400	18,600	17,400	27,400	**122,100**	**90,900**	31,300	12,500	14,600	13,800	▲ 2,100	800
熊本県	50,400	31,100	19,300	47,900	18,400	11,600	17,900	88,300	48,800	**39,500**	13,900	14,000	12,600	▲ 100	1,400
大分県	59,600	37,200	22,400	58,200	22,200	13,700	22,300	89,200	**64,800**	24,400	16,300	16,900	14,300	▲ 600	2,600
宮崎県	63,600	33,600	30,000	62,700	14,100	16,400	32,200	68,000	48,300	19,700	8,200	10,400	10,100	▲ 2,200	300
鹿児島県	**79,500**	**48,700**	30,800	**74,800**	19,600	**22,800**	32,400	**105,100**	**82,800**	22,200	10,800	11,200	11,900	▲ 400	▲ 700
沖縄県	**128,800**	**75,000**	**53,800**	**129,800**	**36,400**	**36,500**	**56,900**	**125,800**	**81,700**	**44,100**	14,100	14,200	13,400	▲ 100	800

単位（円）

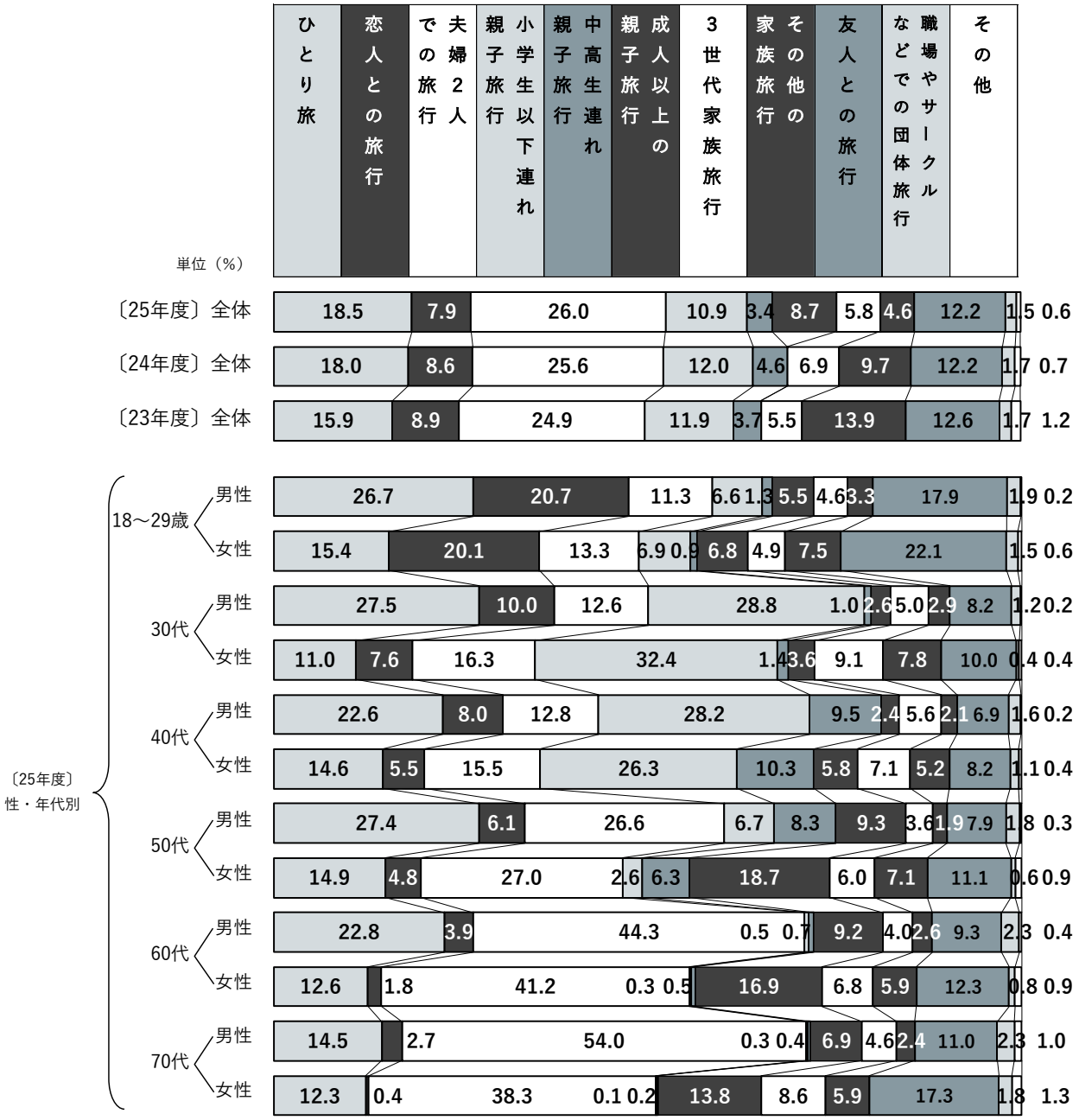
全体平均より5,000円以上高い　　全体平均より5,000円以上低い

国内宿泊旅行の同行形態

■ 同行形態として最も割合が高かったのは「夫婦2人での旅行」で26.0%。次いで「ひとり旅」が18.5%、「友人との旅行」が12.2%、「小学生以下連れ親子旅行」が10.9%で続く。2025年度から新たに追加した「成人以上の親子旅行」は8.7%と一定の割合を占めており、これまで「その他の家族旅行」に含まれていた同行形態の一部が可視化された。前年度と比較可能な項目では、「ひとり旅」が0.5ポイント増加した一方、「小学生以下連れ親子旅行」は1.1ポイント減少した。

■ 性・年代別に見ると、男性では「ひとり旅」の割合が高い傾向にあり、18～29歳、50代では最も高い同行形態となっている。18～29歳女性は「友人との旅行」（22.1%）に次いで「恋人との旅行」（20.1%）が続き、複数人旅行を好む傾向がある。30～40代は男女とも「小学生以下連れ親子旅行」の割合が最も高い。60代以上になると男女とも「夫婦2人での旅行」が最も高くなり、70代女性においては「友人との旅行」も17.3%と高くなる。

■ 国内宿泊旅行の同行形態（各単一回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）



※25年度に「成人以上の親子旅行」を追加。実際の選択肢は「成人した子どもとの親子旅行」

宿泊旅行の目的

■ 国内宿泊旅行の目的は、「地元の美味しいものを食べる」（43.7%）が最も高く、次いで「温泉や露天風呂に入る」 「宿を楽しむ」（ともに35.6%）が続く。前年度と比較すると、「宿を楽しむ」は1.4ポイント増加した一方、「地元の美味しいものを食べる」は1.5ポイント減少した。食、温泉、宿といった定番の目的が引き続き上位を占めている。

■ 同行者別に見ると、恋人との旅行、夫婦2人での旅行、成人以上の親子旅行、3世代家族旅行では「地元の美味しいものを食べる」が全体と比べて高い。小学生以下連れ親子旅行では「テーマパークに行く」、中高生連れ親子旅行では「ショッピングセンターやアウトレットに行く」などが全体と比べて高く、子どもの年齢によって目的に違いが見られる。また、ひとり旅では「スポーツ観戦や芸能鑑賞をする」や「友人・親戚を訪ねる」が全体と比べて高く、同行者によって旅行目的の違いがあることが分かる。

■ 国内宿泊旅行の目的（複数回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）

		行動型															
		地元の美味しいものを食べる	温泉や露天風呂に入る	宿を楽しむ	名所、旧跡をめぐる	まちあるき、都市散策をする	テーマパーク（遊園地、動物園、博物館など）に行く	歴史文化を楽しむ	友人・親戚を訪ねる	花見や紅葉などの自然にふれる	ショッピングセンターやアウトレットに行く	スポーツ観戦や芸能鑑賞（ライブ、フェスなど）をする	お祭りやイベントに参加・見物する	アウトドア（海水浴、釣り、登山、キャンプなど）をする	スポーツレジャー（スキー、ゴルフ、マリンスポーツなど）をする	クルーズ・観光船を楽しむ	各種体験（手作り、果物狩りなど）をする
25年度　全体		43.7	35.6	35.6	22.8	18.3	15.8	11.7	9.2	9.1	8.1	6.9	5.2	4.5	3.1	2.0	1.6
24年度　全体		45.2	35.7	34.2	23.4	18.7	15.7	11.8	9.7	10.0	8.0	6.8	4.3	5.0	3.4	2.1	1.7
23年度　全体		45.3	36.3	34.1	24.5	18.7	16.2	*	9.5	10.7	8.1	6.6	4.3	5.2	3.1	1.9	1.6
25年度 同行者別	ひとり旅	30.9	19.5	22.6	20.5	20.1	7.6	11.0	**16.8**	7.2	6.6	**12.7**	7.2	3.7	2.6	1.2	0.9
	恋人との旅行	48.1	37.8	**44.6**	20.5	16.8	19.6	8.5	5.1	10.9	10.5	6.6	5.5	4.4	3.3	2.8	2.5
	夫婦２人での旅行	**49.1**	**43.4**	36.6	**28.5**	19.3	9.9	15.0	8.5	11.3	6.9	4.1	4.3	3.3	2.1	2.2	1.0
	小学生以下連れ親子旅行	40.3	35.4	**43.0**	13.8	12.7	**38.8**	6.5	6.3	7.4	10.7	4.4	5.2	8.6	4.3	2.0	3.4
	中高生連れ親子旅行	44.2	34.7	35.6	24.0	18.7	**24.4**	11.3	7.0	7.2	**13.6**	6.2	4.5	6.3	4.6	2.3	2.1
	成人以上の親子旅行	48.3	39.7	39.4	25.6	21.9	14.5	14.2	6.4	7.8	9.7	8.1	4.6	2.5	1.2	2.3	1.3
	３世代家族旅行	48.5	**48.5**	**49.8**	17.5	14.5	**25.4**	9.3	6.8	9.4	7.8	2.5	4.1	4.4	2.7	2.3	3.3
	その他の家族旅行	46.2	38.6	39.7	24.7	18.5	14.0	12.2	8.0	10.3	7.4	7.8	4.4	2.3	1.9	1.4	1.0
	友人との旅行	45.9	33.1	31.3	22.8	19.4	13.6	11.3	9.3	8.8	7.3	8.3	5.5	6.1	5.6	2.3	1.4
	団体旅行	38.5	30.1	25.7	23.7	12.0	5.9	16.0	2.3	5.9	5.5	5.9	6.2	6.0	**10.0**	1.5	2.3

構成比（%）

		テーマ型					
		知識や教養を深める	趣味を満喫、推し活をする	健康を増進する	自己成長のために、新しいこと・初めてのことを体験する	旅先で仕事やアルバイト、ボランティアをする	その他
25年度　全体		3.4	2.4	2.1	1.6	0.6	3.5
24年度　全体		3.5	2.2	2.2	1.5	0.5	3.3
23年度　全体		3.5	2.0	2.1	1.4	*	3.4
25年度 同行者別	ひとり旅	4.9	6.1	2.0	2.5	1.4	4.1
	恋人との旅行	3.5	0.9	2.6	2.7	0.9	1.8
	夫婦２人での旅行	2.7	1.2	2.3	0.8	0.3	3.7
	小学生以下連れ親子旅行	2.7	0.4	2.0	1.7	0.3	1.6
	中高生連れ親子旅行	3.8	1.0	1.6	1.6	0.9	3.7
	成人以上の親子旅行	3.1	1.9	1.9	0.9	0.1	4.0
	３世代家族旅行	2.2	0.6	1.8	1.4	0.5	3.4
	その他の家族旅行	2.8	3.6	1.3	1.2	0.1	6.1
	友人との旅行	3.5	2.9	2.1	1.3	0.6	2.7
	団体旅行	**10.0**	2.0	2.5	3.5	3.7	8.2

※「趣味を満喫、推し活をする」は、24年度までは
「趣味を満喫、推し活（好きなアイドル等を応援）をする」

＊「歴史文化を楽しむ」「旅先で仕事やアルバイト、ボランティアをする」は24年度から追加

全体平均より5ポイント以上高い　　全体平均より3ポイント以上高い

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの３事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。
リクルートグループ：https://recruit-holdings.com/ja/　　リクルート：https://www.recruit.co.jp/